



《安全管理》 褥瘡発生率

項目解説

褥瘡（床ずれ）は患者さんのQOL（生活の質）を低下させ、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大にもつながります。そのため、褥瘡予防対策は患者さんに提供されるべき医療の重要な項目の1つとなっています。

褥瘡の治療はしばしば困難であり、発生予防がより重要となることから、関連知識の蓄積、予防の計画、予防の実施にかかる総合力を評価します。

当院の実績

平成22年度	0.80%	(52/6, 504)
平成23年度	0.69%	(45/6, 569)
平成24年度	0.60%	(40/6, 679)
平成25年度	0.57%	(34/6, 000)
平成26年度	0.64%	(37/5, 752)
平成27年度	0.82%	(51/6, 216)
平成28年度	0.69%	(43/6, 201)

当院の自己点検評価

当院の褥瘡対策委員会は、日々のスキンケアや体位変換はもとより、不足する身体の動きを支援することで、褥瘡予防だけではなく生活の質の向上にもつながるよう他職種で取り組んでいます。

また、体圧分散用具やマニュアルの整備、褥瘡回診、院内研修なども実施しています。

定義

算式のとおり（入院後に褥瘡が新規発生した患者数の比率）

算式

分子：新規褥瘡発生患者数

分母：新規入院患者数